

都民ファーストの会

都政改革委員（新宿区担当）
小池百合子元秘書

森口
つかさ

（もりぐち）

さんを
紹介します。



命を守る街づくり、災害に強い首都東京の実現！

都庁のある新宿起点で安全・安心な東京を創ろう

次の世代の子ども達とともに「希望」と「誇り」を持ち続けられる街づくりを実現する

小池百合子都知事が就任してから、都政の透明化、見える化が進み、これまで表に出てこなかった都政・都議会の問題点が浮き彫りになりました。

私たち、都民ファーストの会は、「都議会の情報公開・透明化」を通じ「閉ざされた都政」から「開かれた都政」へと改革を推し進め、都民の皆さまの生活に直結する改革を掲げています。

新宿区においても、高齢者の方が活躍できる場づくり、防災・災害対策の充実、子育て支援、外国人の方との共存・共栄など「世界に誇れる都市」にするためには、東京都と一緒に解決すべき課題が多くあります。東京都を代表する都庁がある新宿区だからこそ、これらの課題を率先して解決する責務があると思います。

この度、都政改革委員（新宿区担当）に就任した森口つかささんは、小池百合子都知事の元秘書としての経験、起業家としての経験、及び（公社）東京青年会議所の理事として社会活動に従事してきた経験を活かし、新宿区の地域課題の解決に取り組めます。都民ファーストの会は、森口つかささんを先頭に、新宿区から安全・安心で「希望」と「誇り」を持ち続けられる街づくりを実現いたします。

森口つかささんのプロフィール

- ▶ 1982年2月生まれ（35歳）
- ▶ 京都大学 工学部 物理工学科 卒業
- ▶ 衆議院議員小池百合子事務所 元秘書
- ▶ 公益社団法人東京青年会議所 理事（国際政策室 室長）
- ▶ 12歳の時、震災で家族を亡くした経験から、災害に強い、命を守る街づくりが私の人生の使命です。

都民ファーストの会基本政策集

「東京大改革」は都議会改革から

条例や政策をつくる議会へ！ 小池都政“実行プラン”を加速化！

基本政策01

忖度だらけの
古い都議会を新しく

自分ファーストの議員から、
都民ファーストの議員へ。



基本政策02

「のり弁」をやめます

「黒塗り」の公文書を改め、
徹底的に情報公開します。

基本政策03

利権を一掃します

不当な口利きで、
税金を無駄にする議員を
許しません。



都民ファーストPRESSは、都政改革委員(新宿区担当)・小池百合子東京都知事の元秘書の森口つかささんにインタビューを行いました。

——若くして起業された森口さんが、なぜ都政の改革へ挑戦する決意を固められたのでしょうか？

森口つかさ…大きなきっかけは2つあります。1つ目は2008年に前職を辞めた際、時を同じくして小池百合子さんが自由民主党総裁選挙に出馬された。この時にお手伝いをさせて頂いた縁で、その後、小池さんの秘書として様々な経験をさせて頂きました。2つ目は、2016年の東京都知事選挙です。師である小池さんが一人で都政改革に立ち向かう姿を見て、若者である我々こそが挑戦するべきだと強く感じ、同時期に行われた都議選の補欠選挙に立候補しました。

——これまでのようなことをされてきたのですか？

森口つかさ…大学卒業後は一般企業に就職しました。その後、小池百合子さんの秘書を経験させて頂き、2012年からは自らの会社を立ち上げ現在に至ります。また仕事と並行し、2011年より(公社)東京青年会議所で社会活動を続けており、現在は理事をしております。



都民ファーストの会 代表 小池百合子

——都政で実現したいことは何ですか？

森口つかさ…まずは「都議会の情報公開・透明化」です。一部の方・団体の利益を優先した「閉ざされた都政」から都民の利益を最大化する「開かれた都政」へと改革します。しかしながら、これらはあくまで大前提で、これだけでは都民の皆さまの生活は良くなりません。

東京都、そして新宿区を、日本をリードするイノベーションの起点になる都市にして、都民の皆さまが利益を享受できる都政を実現したいと考えています。そのためには特区制度の活用、議員提案条例など、「イノベーションを推進するプラスのルールづくり」が重要です。多種多様な産業・住民の方がいる新宿区からこそ、始めてみるべきチャレンジであると思います。

——森口さんの考える新宿区の課題は何ですか？

森口つかさ…世界、多様な人が集まる都

市です。新宿区にお住まいの方はもちろんの事、関東圏からも毎日多くの方がお越しになり、外国人観光客も非常に多く訪れます。世界中でもこれだけ人が集まる都市はほとんどありません。

このように人が多く集まる大都市で重要なことは、「安心・安全を提供できる街づくり」です。安心・安全といえば、防犯対策や盛り場対策も非常に重要であると考えています

が、私は12歳のとき、兄を阪神大震災で失いました。今でもその時のことを鮮明に覚えています。また、東日本大震災の時には、大学院のフィールドワークで福島県双葉郡を訪れており、その帰り道に被災し、避難生活を送りました。新宿区は、高層ビルや華やかな繁華街のイメージがある一方で、建物や街の老朽化の問題も深刻です。私は、この大きな2つの震災を経験し、災害対策にはとりわけ強い思いがあります。2歳の娘がいる一児の父としても、同じような辛い経験をする方を二人でも減らすことに貢献したいと思っています。他にも子育て支援、地域医療総合診療の推進、多様性を尊重し合える街づくり、世界に誇る国際都市としての東京・新宿のあり方など課題は山積していますが、重要なテーマから一つづつ着手していきたいと思っています。

都民ファーストの会 基本政策集(抜粋)

- ① 付度だらけの古い都議会を新しく / ② 「のり弁」をやめませ
- ③ 利権を一掃します / ④ 待機児童対策を加速します
- ⑤ 教育の機会を増やし、質を高めます / ⑥ 命を守る、頼れる東京
- ⑦ 健康・長寿を誇る首都・東京へ / ⑧ ライフ・ワーク・バランスの徹底
- ⑨ 成長し続ける都市・東京へ / ⑩ オリンピック・パラリンピックを成功へ導く
- ⑪ 都民ファーストの視点で行政改革を徹底します
- ⑫ 「多摩格差」を解消し、島しょ地域の魅力を世界へ発信します
- ⑬ 都民の食の安全と安心を守ります



二歳の娘の父親として、また震災で家族を亡くした経験から、「安全・安心」への想いを語る森口つかささん

都民ファーストの会 新宿区 第一支部 代表者 森口つかさ

森口つかさ事務所: 〒162-0851 東京都新宿区弁天町86 電話番号: 050-3442-0922

都民ファーストPRESS【号外】

ホームページ:
<https://www.tsukasa-moriguchi.info>

Facebook:
<https://www.facebook.com/tsukasa.moriguchi.yy>

LINE

